

# アミーゴ通信

2020年8月 夏号

## 2020年度 会員総会の報告

去る6月28日(日)、2020年度の子どもアミーゴ西東京による会員総会を開催いたしました。今回はコロナ禍の影響により、会場での密集を避けるため、書面評決のご協力をお願いしましたが、議決権の行使をされた正会員の人数は84名中59名となり、無事総会が成立いたしました。また、全ての議案が過半数以上の承認を得て可決、承認されました。

8月現在も、新型コロナの感染は予断を許さない状況ですが、放課後の子どもたちの生活を守り、充実したものとするために、私たちは活動を続けていきます。

今後とも、子どもアミーゴ西東京へのご支援の程、宜しくお願いいたします。

### — お知らせ —

今年度は、新型コロナの影響により「自然塾」は中止といたします。また例年9月に開催してきた「だかしや楽校」は見送り(時期未定)といたします。楽しみにされていた皆様には大変申し訳ありません。

### 代表理事ごあいさつ

松本 毅

まず、現在新型コロナウィルスに苦しめられている皆様、心よりお見舞い申し上げます。会員の皆様には、日頃より団体活動にご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。

今年は、新型コロナ禍により、当団体の、基幹事業である受託事業においても、児童館の閉館、学校休校における学童クラブでの一日保育の実施等、今までにない運営に直面し、依然「新型コロナウィルス」に対して根本的解決が見いだされない中、「密閉、密集、密接」の三蜜の回避を含める感染予防を念頭にした「新生活様式」の日々において、活動は「例年同様」とはいかない歩みになろうと思われま。

その上で、「新生活様式」のなかでも、団体理念である「ささえあう」・「たすけあう」・「共に生きる」を心に置き、活動をしてまいりたいと思いますので引き続きのご支援ご協力をよろしくお願いいたします。



### 理事ごあいさつ

○安藤 耕司 (遊び創造集団たのしーのひ代表)

子どもアミーゴにかかわり始めて、はや10年です。児童センターの受託時からですね。以来、放課後という共通点が、常に自分のかかわりの中心にあり、今も変わりません。

放課後は、子どもたちにとって「自分の思いがかなう」「自分を大切にする」時間です。

「放課後」=「自分を大切にする」を共通のコンセプトにして、かかわりを続けたいと思います。

みなさんとたくさん話して思いを交換し、放課後を豊かにしていきましょう！



### ○伊藤 由加里

(元西東京市学童クラブ連絡協議会事務局長)  
この度4年振りに理事を務めさせていただきます。子どもたちが安全で元気に明るく笑顔いっぱい楽しく過ごせるように、保護者のみなさまが大切なお子さまを安心して預けていただけるように、職員のみなさんが気持ち良く勤められやり甲斐を感じられるように、気を引き締めて努力してまいります。よろしくお願いいたします。



### ○加々見 辰也

(元西東京市学童クラブ連絡協議会副会長)  
2015年度まで理事を昨年度までは評議員をしていた加々見です。  
理事としては4年のブランクがありますがアミーゴのお力になれるよう頑張ります。職員の方とはパソコンのメンテナンスなどで施設にお邪魔する際にお会いすることも増えると思うので見かけたらお声掛けください。よろしくお願いいたします。



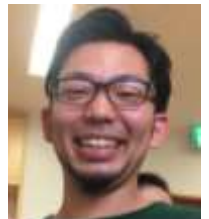
### ○佐藤 文俊

(特定非営利活動法人子どもアミーゴ西東京事務局長)  
2017年まで理事を務めておりましたが、再任させていただくこととなりました。事務局長職と兼任となります。新しい生活様式が余儀なくされる中、広く柔軟な視野を持って法人の運営にあたっていきたくと思います。よろしくお願いいたします。



### ○林 秀和

(特定非営利活動法人子どもアミーゴ西東京職員/放課後児童支援員)  
アミーゴで学童保育に携わって早11年が経ちました。今だに変わらない気持ちがあります。それはアミーゴが目指す保育(理念)は、おもしろいということです。自由で人間が生きていくうえで必要な大切なことを捉えている。それを創ってきたのは、先代の理事やわたしの師匠をはじめ全ての職員、そして何よりも「アミーゴおもしろい!応援するから!」と言ってくれた会員の皆様、子ども、保護者の皆様、ようは地域の皆様の力です。皆様が子どもアミーゴ西東京を活用して、活躍できるよう尽力していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



### ○古谷 健太

(元特定非営利活動法人子どもアミーゴ西東京副代表理事)  
アミーゴが運営する学童保育と児童館に来る子どもたち一人ひとりが、「ここでは私は大切にされている」と実感できるようにしたい。そのためには子どもたちと日々関わる職員、それを支える事務局職員の一人ひとりが、「この団体では私は大切にされている」と実感できなくては、ね。その努力をするのが理事の仕事と捉え努力いたします。で、そういう私のことも大切にしてくださいね。よろしく!



### ○森本 薫

(元西東京市学童クラブ連絡協議会会長)  
西東京市にやってきて7年目。地域に根差し人とのつながりを大事にしてきました。子ども共々お世話になったアミーゴ学童を卒所しても繋がりを断つことなく、次の世代へも伝え繋ぐことが自分にもできると感じました。現場の職員の働きやすい環境、言いあえる環境を築き、若い職員と同世代46歳、父子家庭。アミーゴのア「新しいことを」、ミ「みんなと」、ー「一緒になって」、ゴ「ゴリゴリだ!」…。お後が宜しいようで…。森本薫でした。



## 子どもアミーゴ西東京 「私たちが目指すもの」

1. 子どもにとって安心安全な社会をつくる。
2. 子どもを含むさまざまな世代の参画をすすめ、子どもを中心においた支えあいの地域をつくる。
3. 子育ての責任を安易に家庭に押し付けず、課題を抱えた家庭が地域とつながる家庭支援を行う。
4. 地域の構成員として子どもを明確に位置づけ、社会的自立に向けた成長を支援する。
5. 子どもを社会で育てるための条件整備者としての行政の責務を明確にし、積極的に協働型の地域づくりに関わる。

## アミーゴ通信 2020年8月号

発行日：2020年8月1日 発行所：松本 毅  
住 所：西東京市西原町1-5-13 電 話：042-478-0056 e-mail：info@kodomoamigo.org